



スク水少女

スク美ちゃん

拙者  
くろだ よしみず  
苦勞田好水  
40歳



幼い頃より  
何をしても  
失敗ばかり

何一つ  
上手くいった  
ためしがない

何の役にも  
立たない人間だ



ある日無性に  
自然が恋しく  
なり

ふらりと  
山を登り

この  
美しい川へ  
辿り着いた

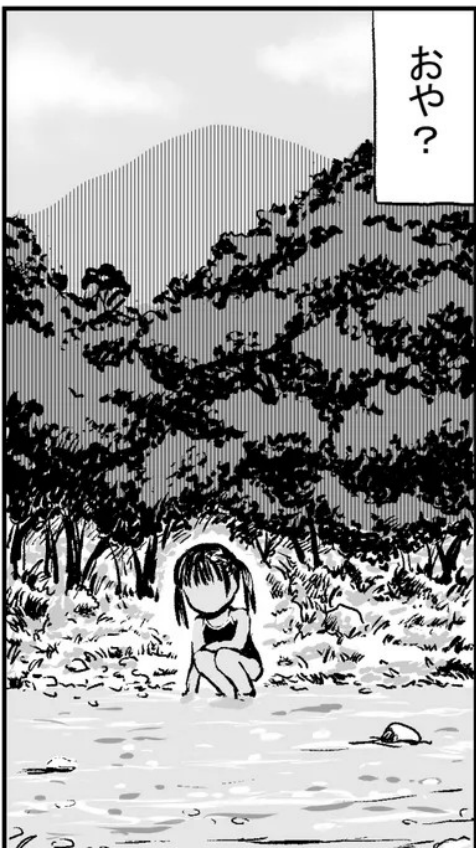
あれは…？



いつそここで  
楽になって  
しまおうか…

おや？

はあ…



こんなところで  
少女が川遊び  
しているではないか

それも  
スクール水着で…

何を隠そう  
この好水<sup>よしみず</sup>

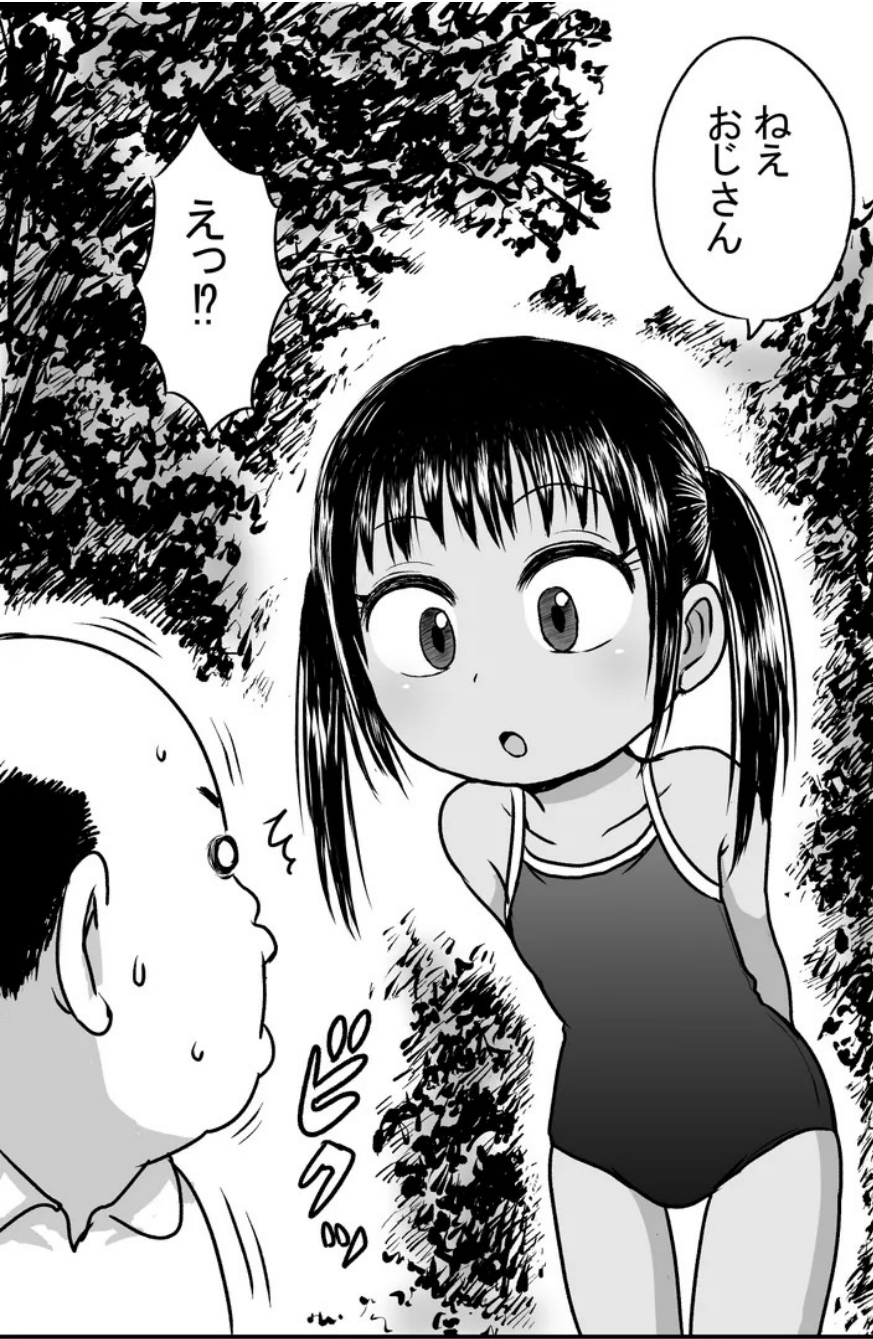
スク水は  
大好物ツ!!

わわ

よもや  
こんな光景を  
この目で拝めるとは…

来て  
よかった…





ねえ  
おじさん

えっ!?



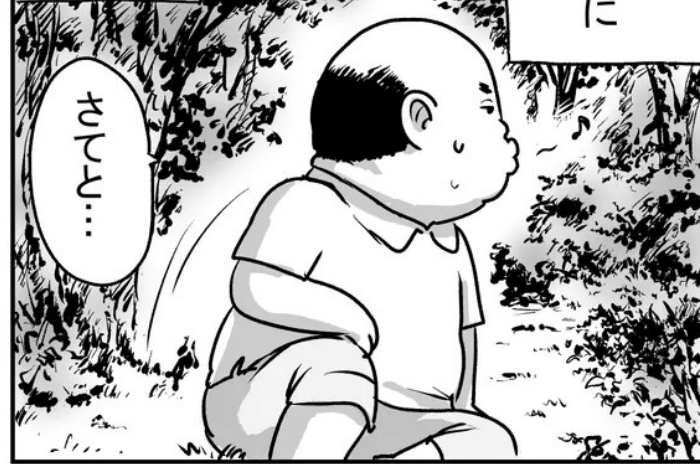
しまった  
目が合った!

ハッ

そう  
逃げるが  
勝ちだ



不審者として  
通報される前に  
退散しよう



さてと...



す...  
すくみ...?

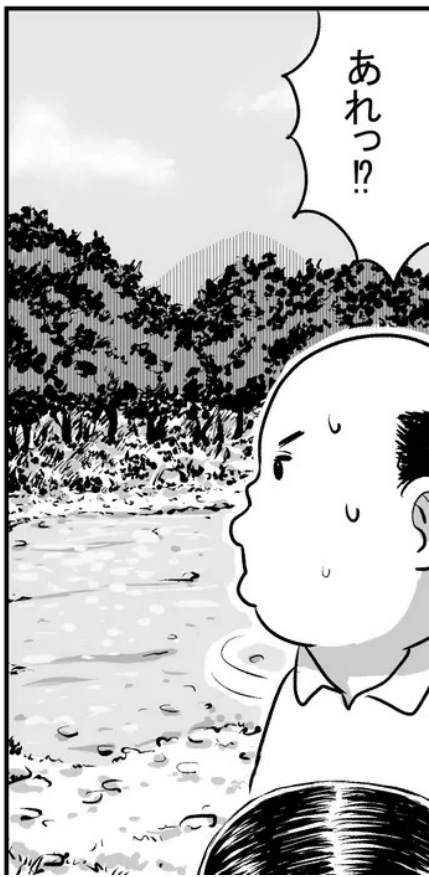


スク美のこと  
見てたでしょ



スク美

私



あれっ!?

スク美ちゃん  
というのか

まるでスク水を着るために  
生まれてきたような名だ…

ほらまた  
見てる

はっ!!

ねえ  
もしかして

スク美のこと  
好きなの?

なッ!!

ハハハ…

なにを  
ばかな…

僕はもう  
おじさん  
だよ…

それとも  
好きなのは



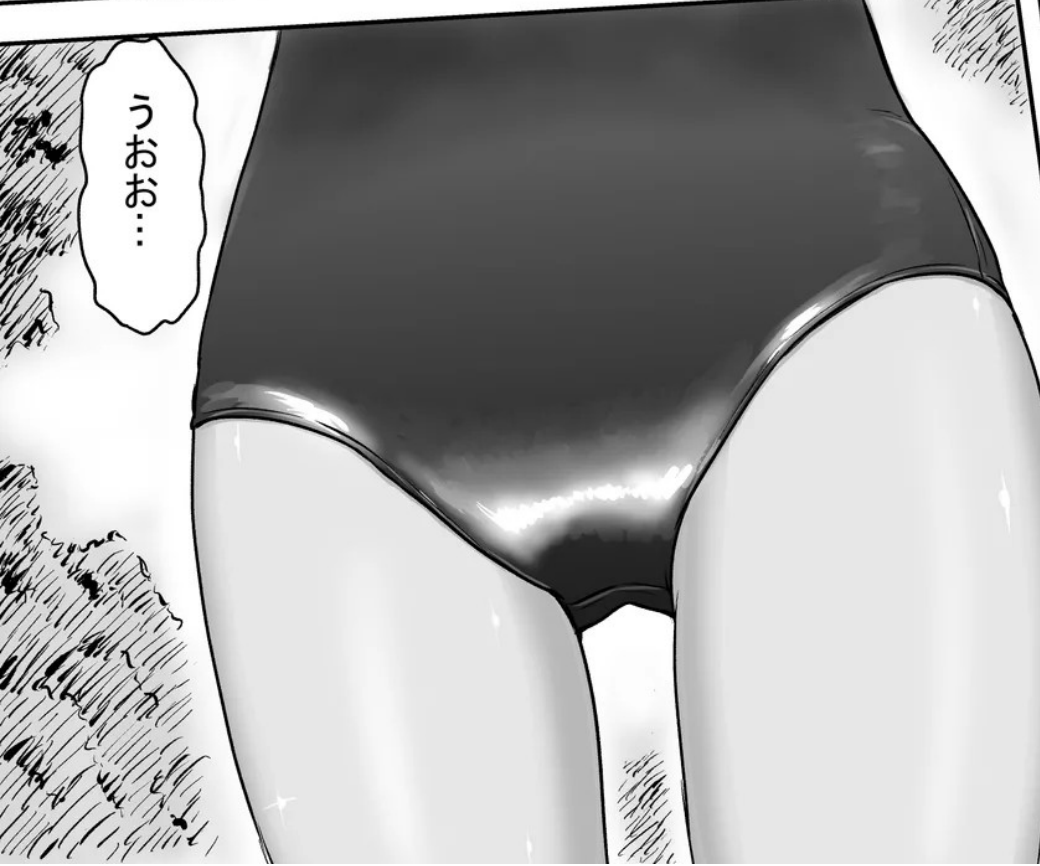
「アッ?」



なっ なな  
何をばばば!!

そそそんなわけ  
なななな!

ガッ  
ガッ  
ガッ



うおお...



ほんとう?」

ズッ

正直に言って  
くれたら

もっと  
近くで見ても  
いいよ??

大好きです!!

よく  
できました

はい!!

んやあ

おっ  
おっ

わっ  
わっ

ふおおおおお!!

スク水!!

スク水が  
目の前に!!

一体何が  
起こってる!?

夢か!?

夢なのか!?

辛抱  
たまらん!!

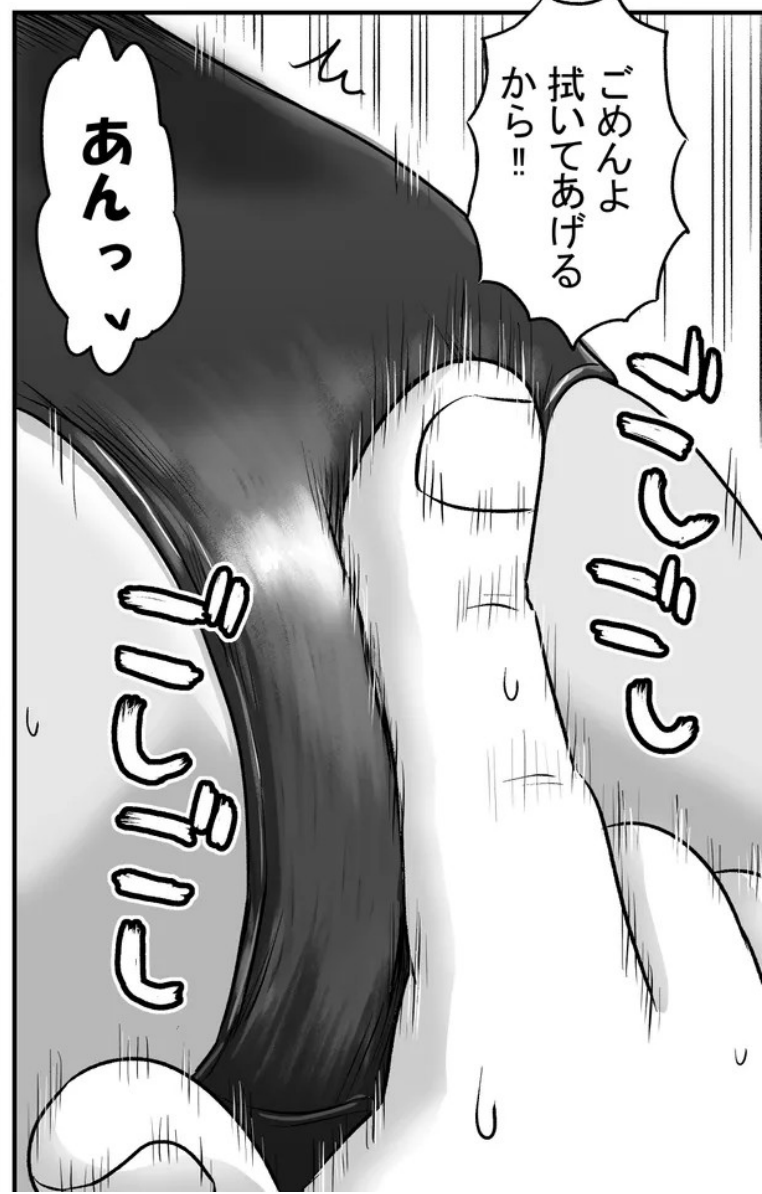
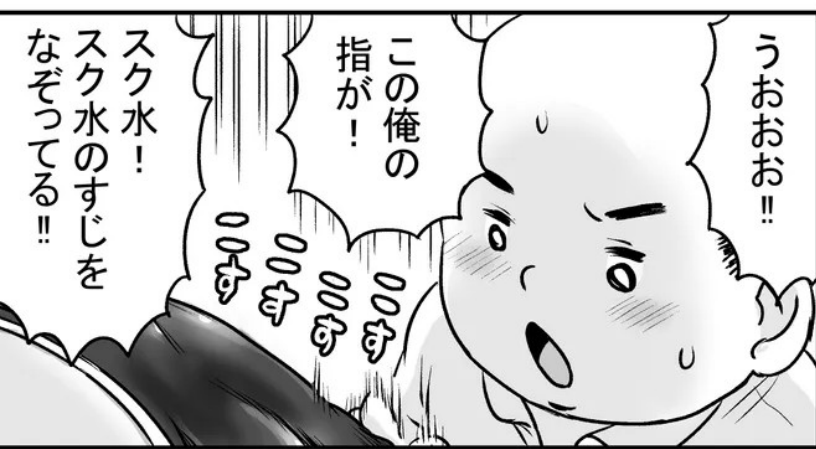
ほろっ

あッ

ん...ッ

スー  
ハー  
もい

スー  
ハー  
もい



スク美ちゃん!

あー

あー

あー

スク水の中!

スク水の中も

見たい!!

お願いします!  
お願いします!

あんっ!!

あーあー

ええ?

どうしよう  
かな?

はっ

も...

はっ

ハイ

ぶいぶい

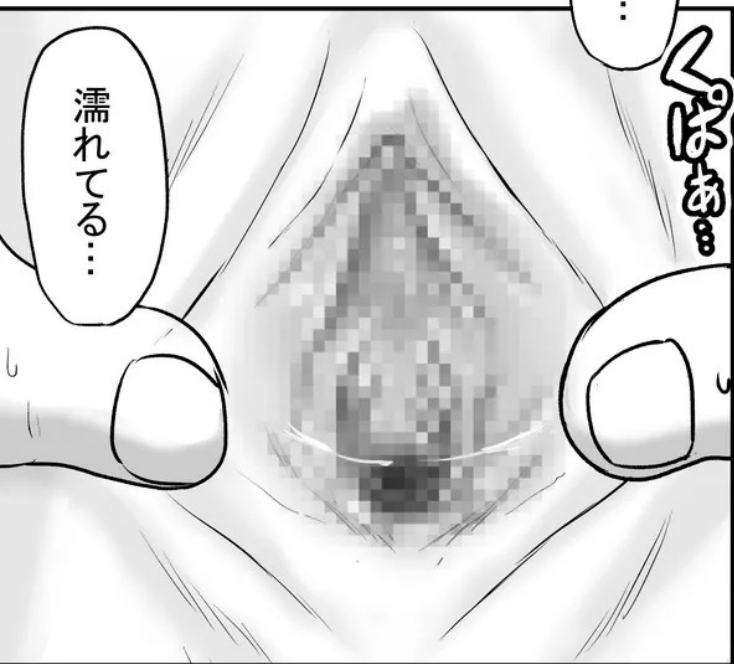
おおおツ...



ぽぽ

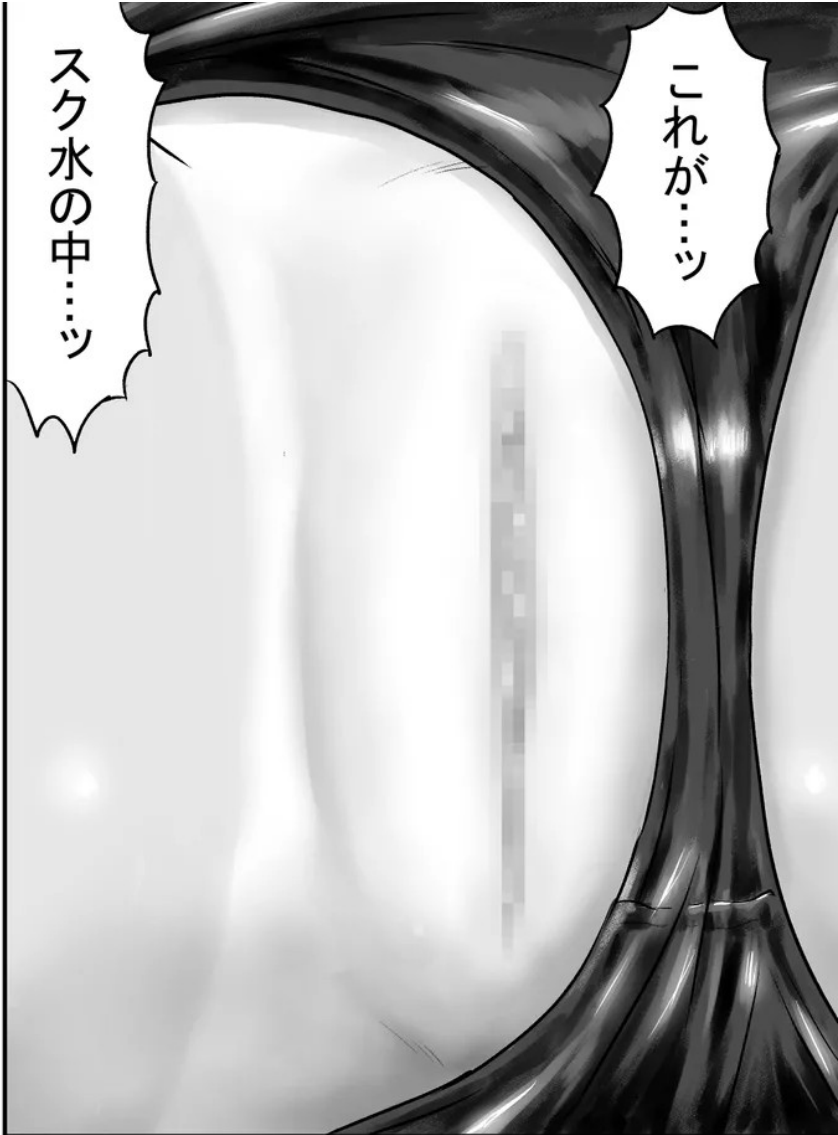
ぽぽ

おお...



ぽぽ

濡れてる...



これが...ッ

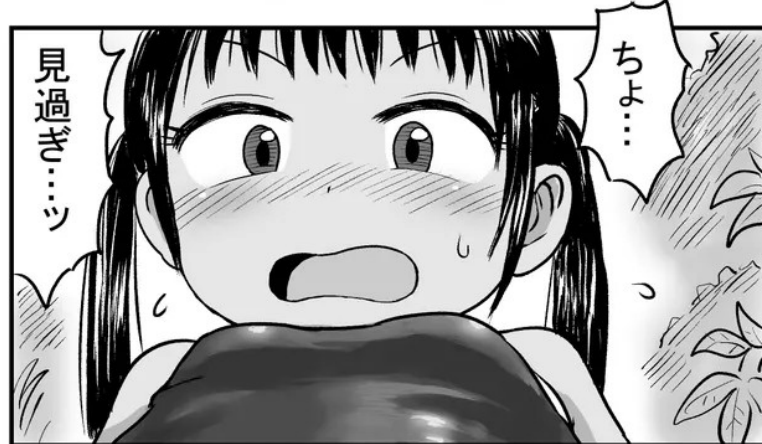
スク水の中...ッ



あッ

ぽぽ

いただきます!!



ちよ...

見過ぎ...ッ



...何してんの...



おじさんッ

あッ

ジュウジュウ

ジュウジュウ

ジュウジュウ



あッ

ジュウジュウ

あッ...

ジュウジュウ

あッ

ジュウジュウ



あったかい...

おじさんの舌...

ジュウジュウ

ジュウジュウ



あッ...

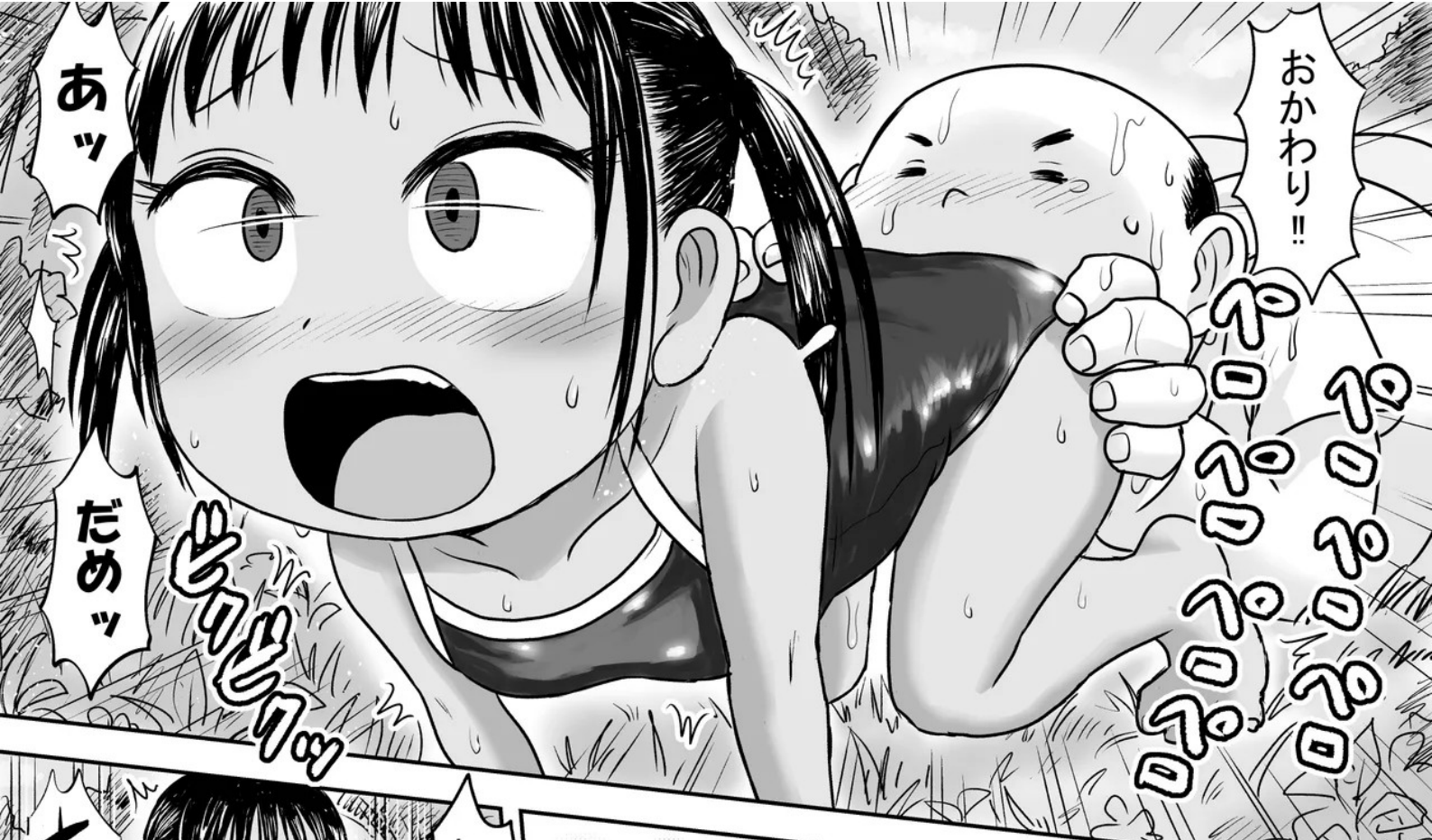
ジュウジュウ



ジュウジュウ







あッ

おかわり!!

だめッ

どろどろ

どろどろどろどろ



あまじ

おかわり!!



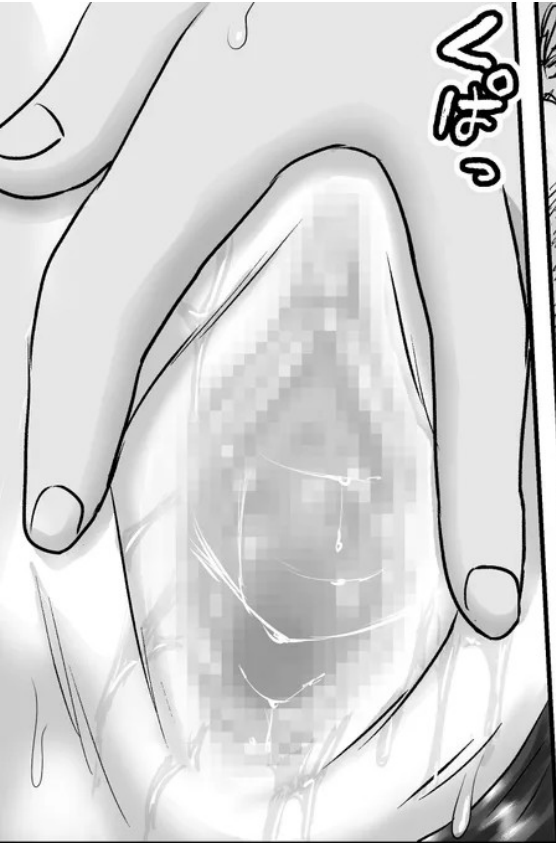
ジーン



おかわり!!



ブシブシブシ



おじさん

おじさん...  
待って...ッ



ようし  
もう一回  
おかわり...

はあ、  
はあ、



ようし  
ようし  
任せろ!!

いいい  
挿れる!!

もぞ

もぞ



スク水の  
中の...  
中に...ッ

いいい  
挿れるぞ!

おじさん



お願い...

もう挿れて...?

はあ

はあ

おじさん

うおおっ……

あッ……

びびびびびび

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

なんて  
気持ちよさだ……ッ

びびび

はあっ  
はあっ

俺のちんぽが……

スク水の中の  
中に……ッ

ああ……ッ

びびび

うおおっ

びびび

あッ

びびび

びびび

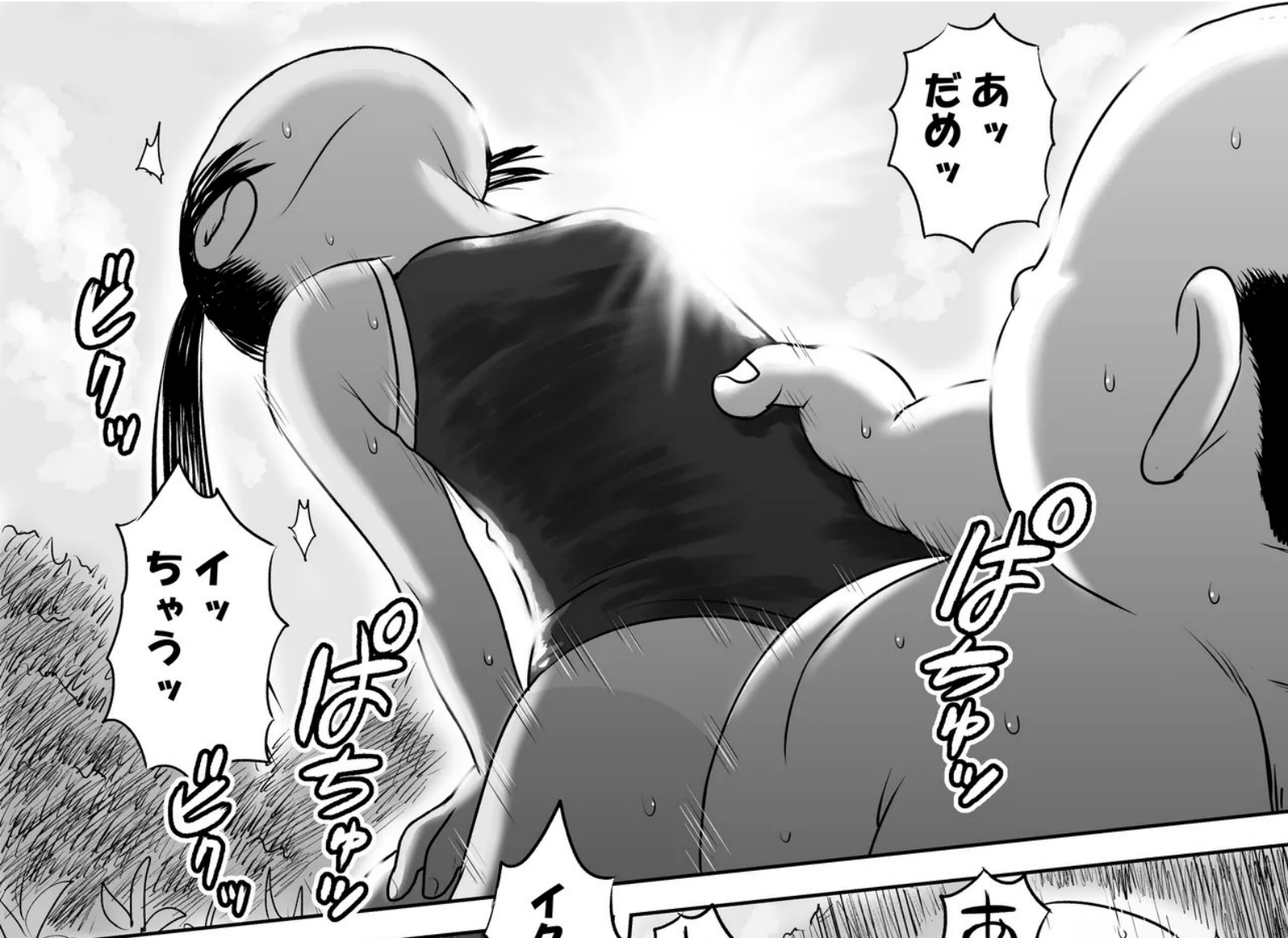
びびび

あッ









あッ  
だめッ

ゴッゴッ

イッ  
ちさづッ

ほちゅん

ほちゅん



うおおッ!

あッ

あッ

ほん

ほん

ほん

スク美ちゃんッ

スク美ちゃんッ

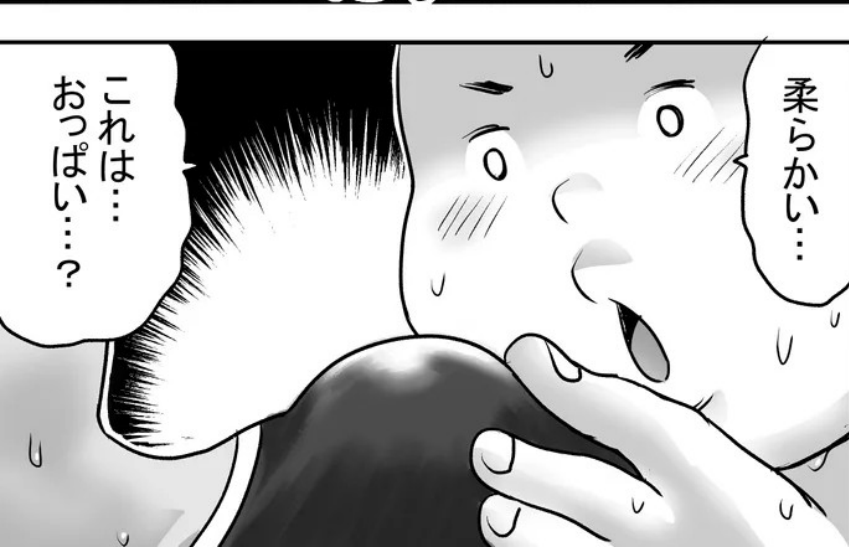
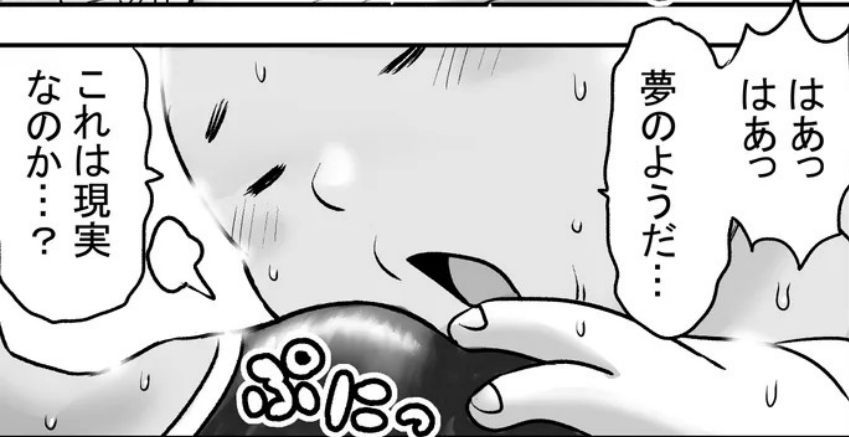


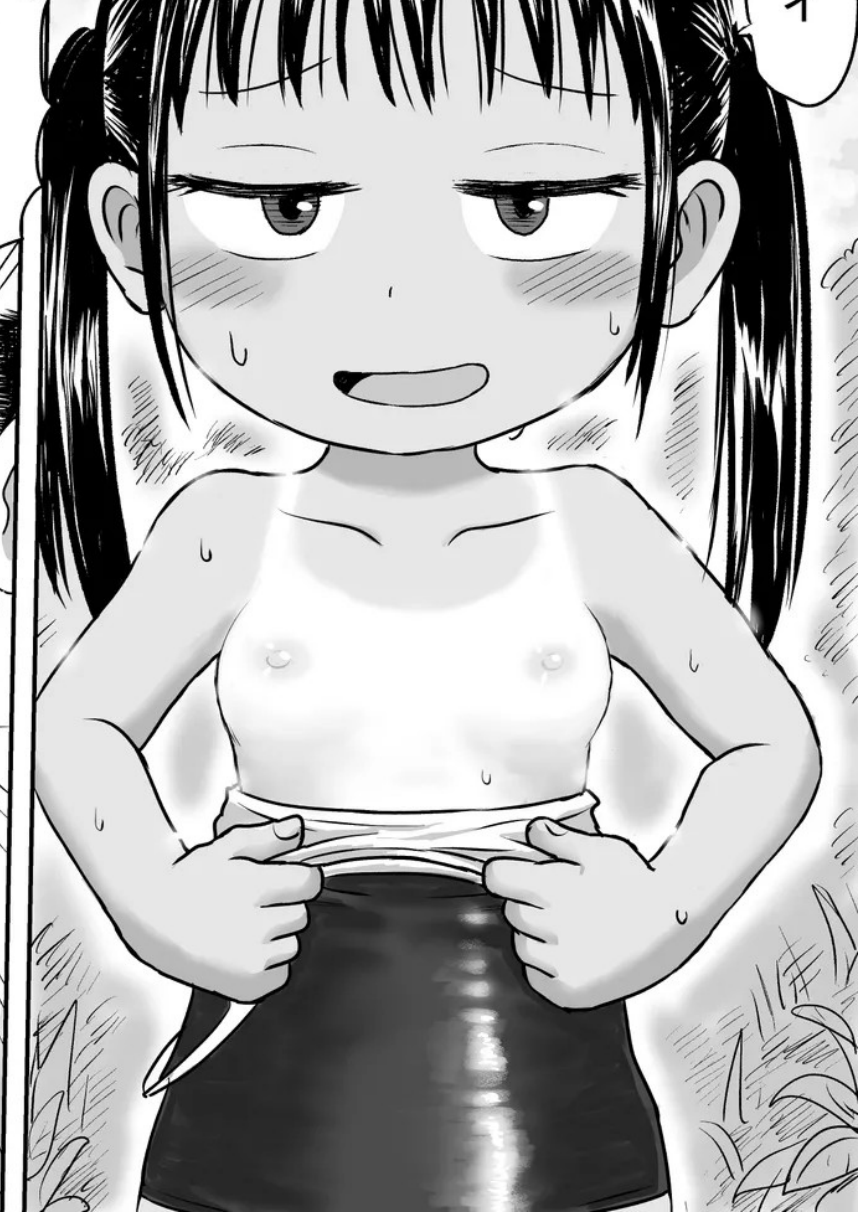
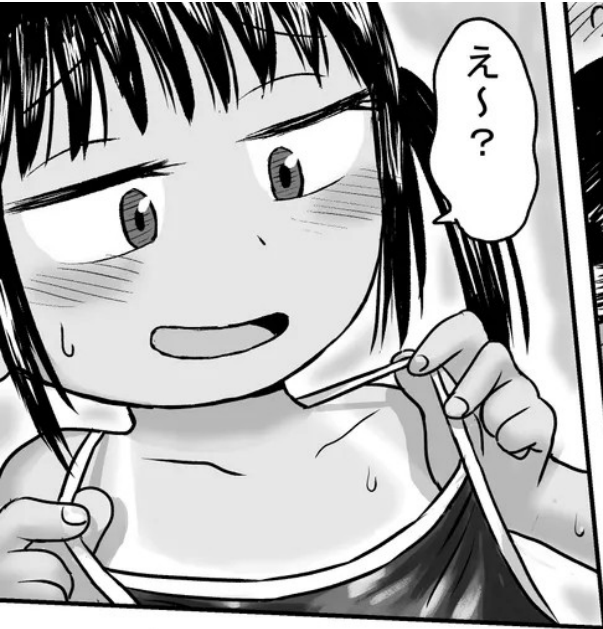
ぬほん

ぬほん

イク...

んんん



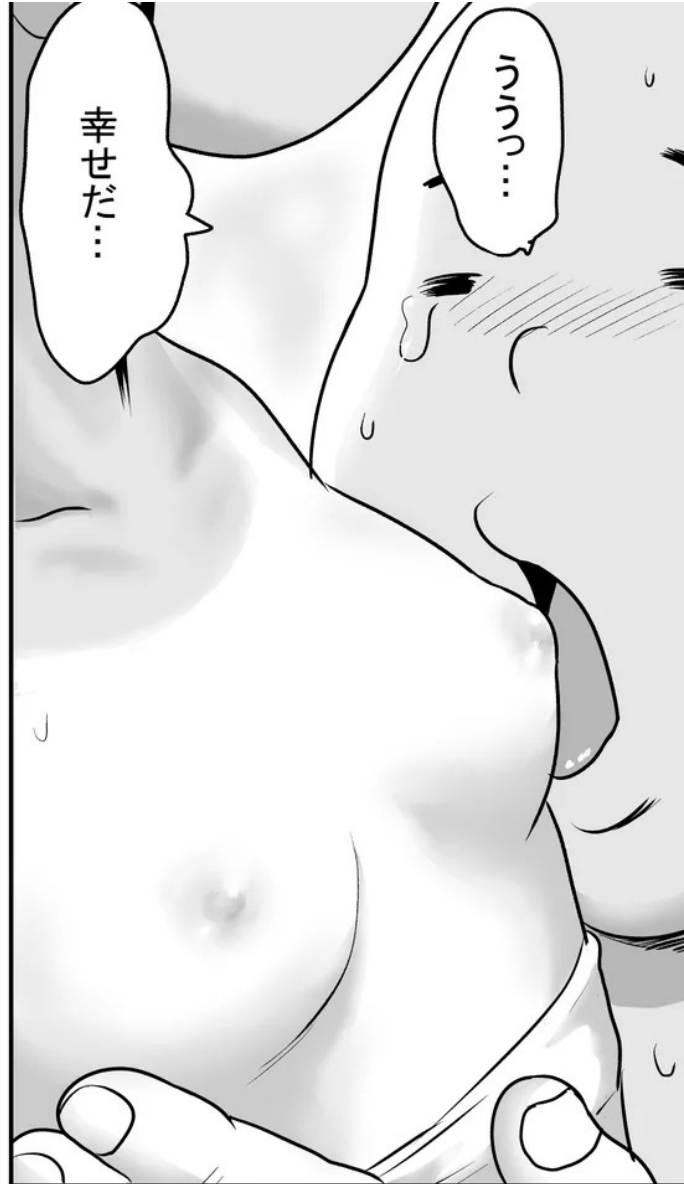




どうして俺なんかに  
こんなによくして  
くれるんだい？

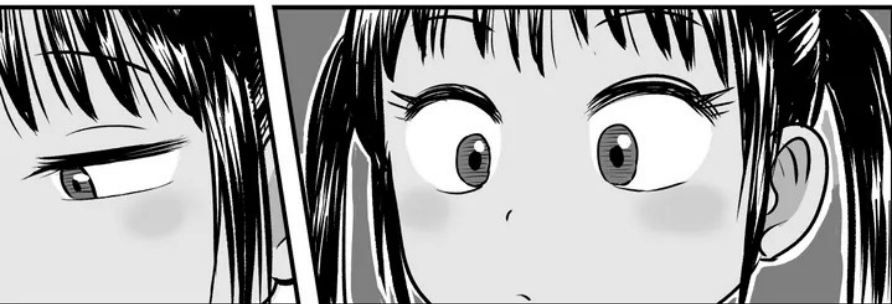
スク美ちゃん…

こんな  
何の役にも  
立たない  
おじさんに…



ううう…

幸せだ…



スク美は人間の  
「スクール水着が好き」  
つていう気持ちだ…

なんかこう  
グチャグチャ  
つてなって

そこから  
生まれた…

よくわかんないけど  
そういう存在なの



スク美はね

人間じゃ  
ないの

え…？

ふうむ…  
スク水への情念に  
魂が宿った…  
妖怪みたい  
なものかな…

妖怪…？  
いや妖精…  
いやいや天使  
むしろ神！

…だから  
スクール水着が好きって  
思ってくれる人間が  
いないと  
スク美は  
消えちゃうんだ…  
そ…  
そんな？！

…信じて  
くれるの？  
まあ…  
すでにもっと  
夢のような  
状況だし…  
ちゅっ  
ちゅっ

ありがどうね  
おじさん  
なで なで

だからね  
おじさんが  
スクール水着を好きで  
いてくれることが  
何よりスク美の  
役に立ってるんだよ？



スク美ちゃんツ!!

んっ!!

ぬるる

ぬるる

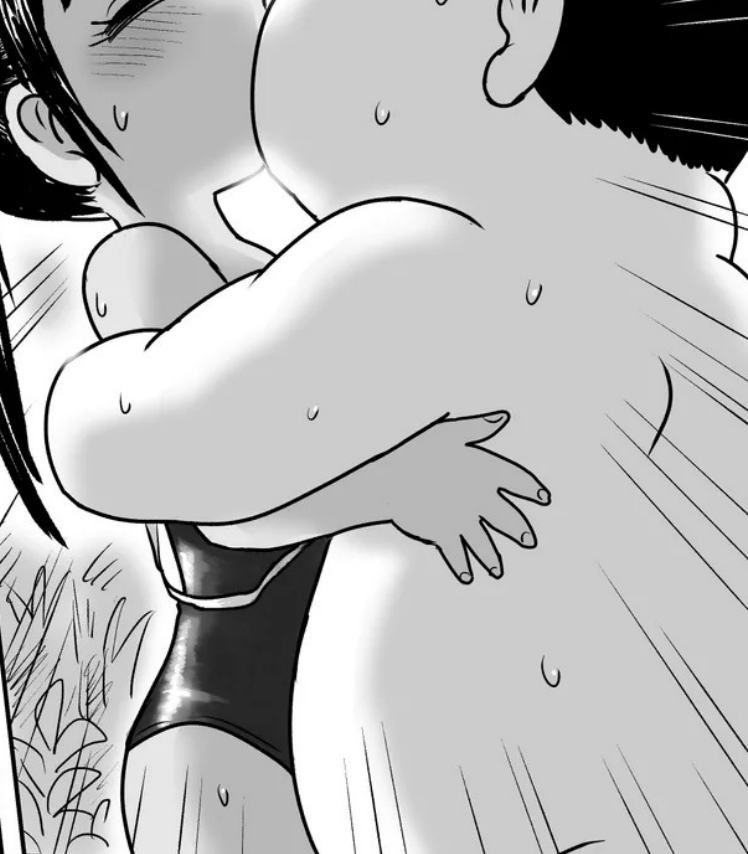


ケッコン!!

ケッコンしよう!!

えっ  
ケッコ...

はあ!!



あッ

あッ

あッ

スク美は  
人間じゃ...



な...  
何言ってるの?!



好きなんだ!!

スク美ちゃんが!!

それは...ッ  
わかってるけど...ッ

いさい  
ちがう!

スク水も  
好きだけど

スク美ちゃんが  
好きなんだ!!



そんな...



俺と結婚して

二人で幸せになろう!!

あま...



そんな事言われたら...ッ



うおおッ...

キュン

締まる...ッ

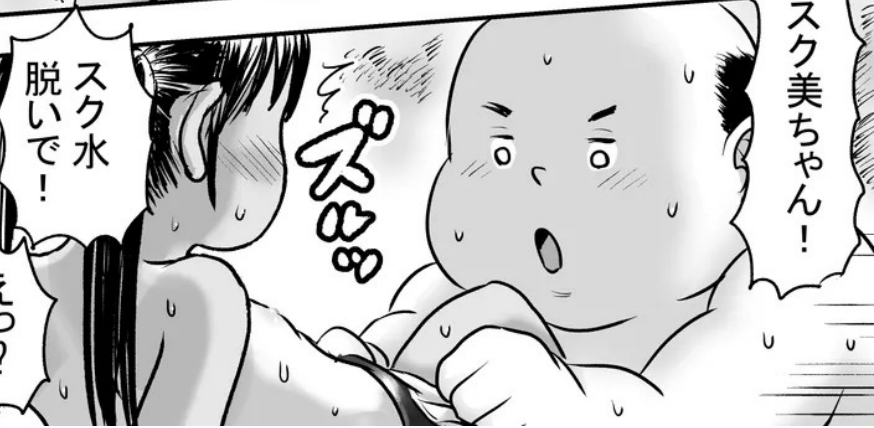
あッ

あま...

キュン

だめッ

あま...



見たいんだ!!

スク美ちゃんの裸が!!

抱きたいんだ!

スク美ちゃんの全部を!!

あッ

ズッ

ズッ

あッ  
だめえッ

スク水が  
なくなつて

あッ

だめッ

スク美ちゃんが  
好きだッ!!

あッ

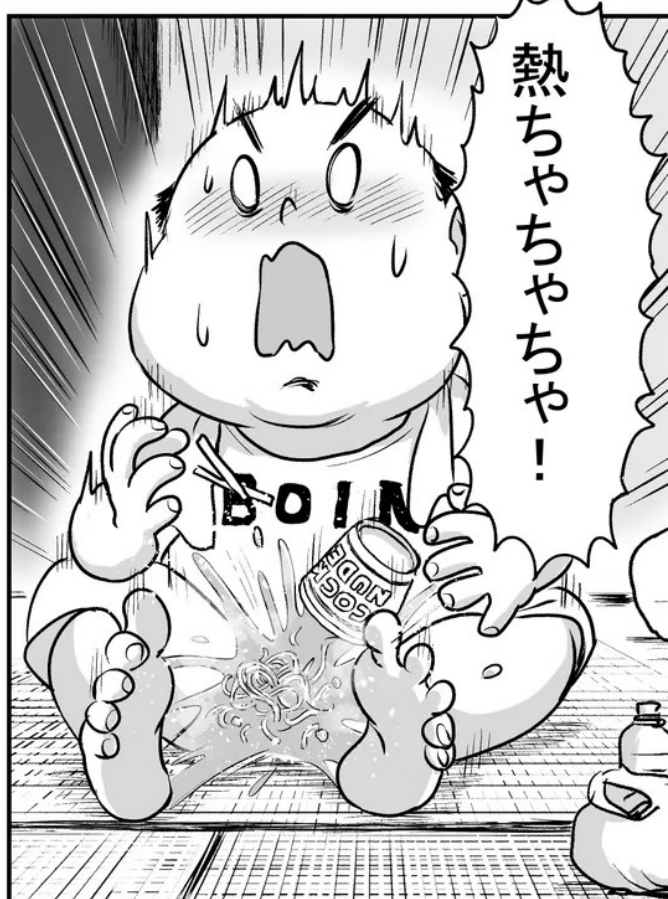
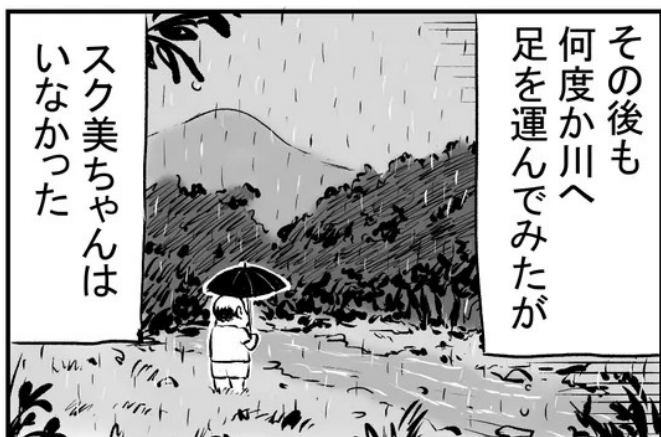
あッ

だめッ...

あッ

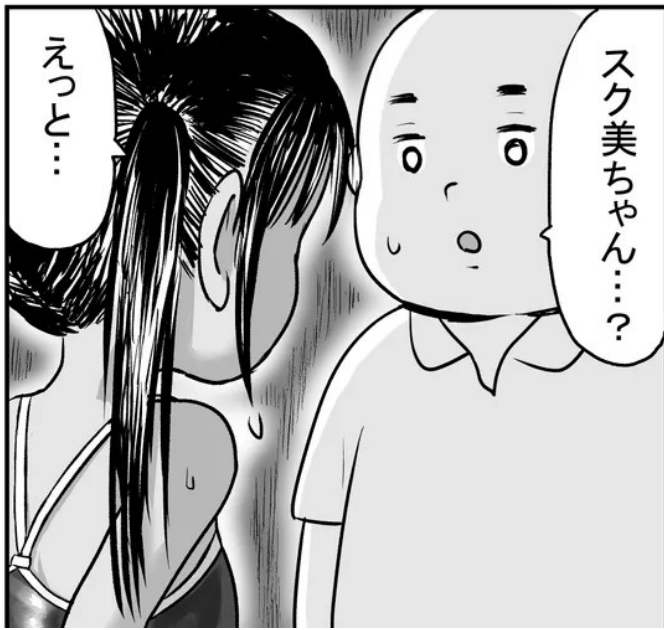
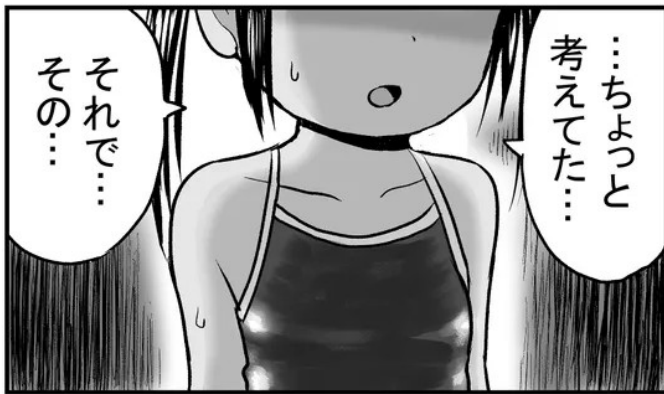
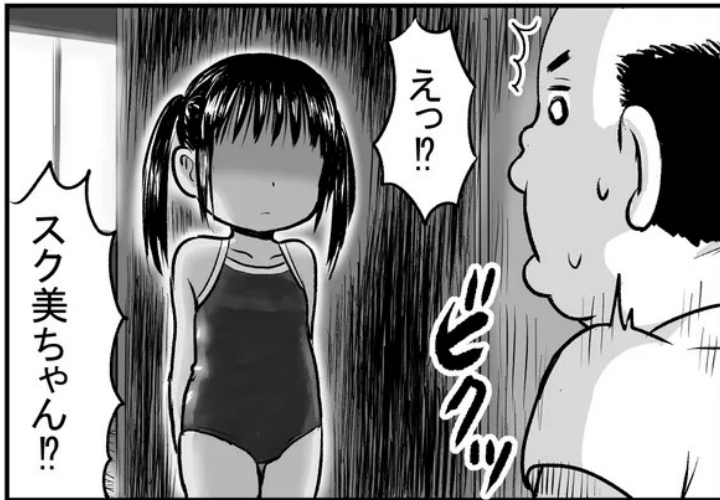


それから  
スク美ちゃんは  
姿を消した





しかしそれでも  
スク美ちゃんは見つからなかった





スク水少女

スク美ちゃん

